

自然災害の防止や迅速な復旧のために

気象観測体制の構築 ～狩野川流域～

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるレーダ雨量や雨量観測所及び河川水位観測所を設置し、CCTVカメラにより河川の状況把握を実施しています。また、洪水時によりきめ細やかな水位状況を把握するため、平成31年度より洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計を設置し、川の水位情報で公開しています。

【川の防災情報】

- PC・・・https://www.river.go.jp/
- スマートフォン版・・・https://www.river.go.jp/s/
- レーダ雨量・・・https://www.river.go.jp/kawabou/pc/rd
- 川の水位情報・・・https://k.river.go.jp/



災害対策車両の配備

災害から地域を守るため、災害対策車両を沼津河川国道事務所に配備し、被害に対して迅速な復旧を行います。また、災害対策車両は被災した自治体からの要請があった場合は被災箇所へ派遣し、災害支援を行います。



事務所配備車両の一例

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)等の派遣

国土交通省は、大規模な自然災害に際して、被災した自治体等に対して、リエゾン(現地情報連絡員)を派遣し被災状況の迅速な把握を行い、必要に応じ速やかにTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣して、被害の発生及び拡大の防止、早期復旧等、災害応急対策に関する技術的な支援を行います。



令和6年1月石川南橋市での活動状況

沼津河川国道事務所の概要

事務所の変遷

年 月	名 称	事 業	備 考
昭和2	8	狩野川測量所	河川測量
昭和2	9	狩野川改修事務所	河川改修
昭和18	10	沼津工事事務所	道路改築
昭和20	7	静岡工事事務所	〃
昭和22	12	沼津工事事務所	〃
昭和39	7	〃	〃
昭和40	4	〃	〃
昭和40	7	〃	〃
昭和41	4	〃	〃
昭和42	5	〃	〃
昭和42	6	〃	〃
昭和46	4	〃	〃
昭和54	11	〃	〃
昭和63	4	〃	〃
平成8	3	〃	〃
平成13	1	〃	〃
平成15	4	沼津河川国道事務所	〃
平成26	4	〃	〃
令和7	4	〃	〃

管内市町の概要

1 沼津市 Namazu City	●面積：186.85km ² ●人口：185,758人 沼津市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
2 熱海市 Atsuta City	●面積：61.70km ² ●人口：33,290人 熱海市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
3 三島市 Matsushima City	●面積：62.02km ² ●人口：104,961人 三島市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
4 伊豆市 Izu City	●面積：124.02km ² ●人口：84,438人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
5 御殿場市 Gotemba City	●面積：194.90km ² ●人口：83,487人 御殿場市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
6 下田市 Shimada City	●面積：104.38km ² ●人口：19,282人 下田市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
7 裾野市 Susono City	●面積：138.12km ² ●人口：48,688人 裾野市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
8 伊豆市 Izu City	●面積：363.97km ² ●人口：27,748人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
9 伊豆市 Izu City	●面積：94.62km ² ●人口：45,983人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
10 伊豆市 Izu City	●面積：77.82km ² ●人口：11,093人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
11 伊豆市 Izu City	●面積：100.69km ² ●人口：6,398人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
12 伊豆市 Izu City	●面積：109.94km ² ●人口：7,340人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
13 伊豆市 Izu City	●面積：85.11km ² ●人口：5,658人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
14 伊豆市 Izu City	●面積：105.41km ² ●人口：6,639人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
15 伊豆市 Izu City	●面積：65.19km ² ●人口：36,105人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
16 伊豆市 Izu City	●面積：8.81km ² ●人口：31,637人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
17 伊豆市 Izu City	●面積：26.63km ² ●人口：43,705人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。
18 伊豆市 Izu City	●面積：135.74km ² ●人口：16,975人 伊豆市は、伊豆半島の南東部に位置し、太平洋に面した都市です。市内には、伊豆半島の自然景観と、太平洋の雄大な風景が広がっています。また、市内には、多くの観光資源があり、観光客の訪れが盛んです。

データ出典：【人口】総務省自治体行政「令和7年住民基本台帳人口」(令和7年7月1日現在) 【面積】国土交通省 国土地理院「令和7年度全国都府県市区町村別面積図」(令和7年7月1日) 【市町界】市町界データ 令和7年度版

人中心の豊かな地域づくりのために
～道路事業～

伊豆縦貫自動車道/東駿河湾環状道路

沼津河川国道事務所は、静岡県東部地域の国道1号、138号、246号及び高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、天城北道路、河津下田道路)の4路線約111.0kmを管理しています。各路線の維持修繕、交通安全、道路防災及び道路に関する許可のほか、国道1号、138号、246号及び伊豆縦貫自動車道の改築事業、道路調査などの業務を実施し、安全で快適な道路づくりに取り組んでいます。

改築事業

伊豆縦貫自動車道概要

起終点：静岡県沼津市～下田市 延長：約60km 設計速度：80km/h



主な整備効果

- 交通の円滑化
・伊豆半島の南北を縦貫する道路であり、国道135号、136号及び414号の交通混雑の緩和。
- 観光促進
・伊豆半島の観光拠点を連絡し、観光都市としての発展、地域の活性化。
- 防災機能強化
・災害時：救急医療時の緊急輸送路としての機能。

道路の老朽化対策



交通安全事業

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解決作戦～」に基づき、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めています。
- 小山町上野地区の国道246号では安心・安全に通行できるように路形改変を実施し、交通事故の防止を図っています。

国道246号小山町上野地区改良



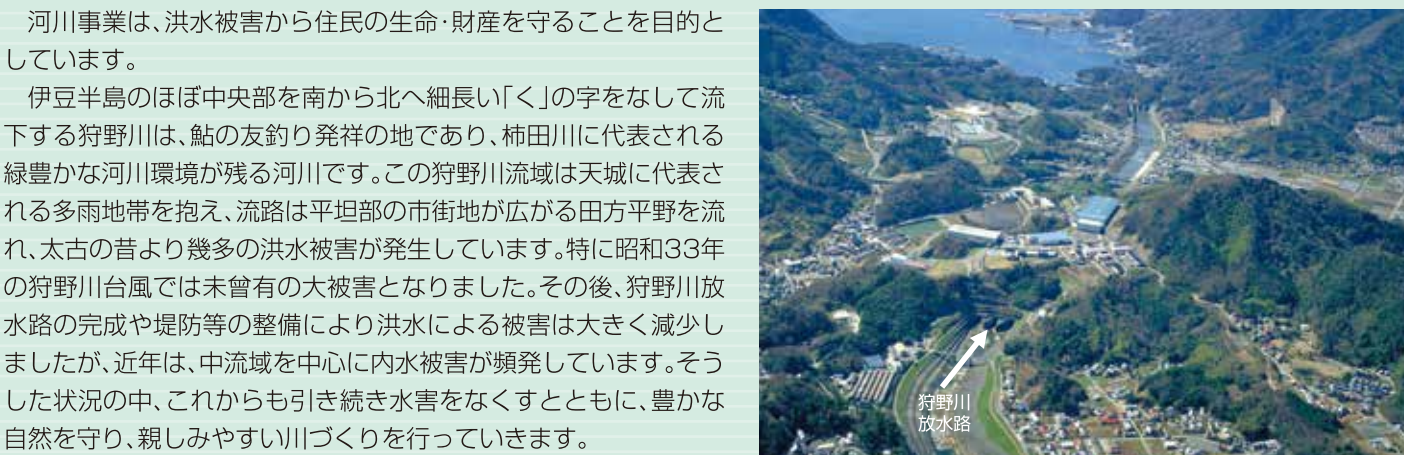
大規模災害の発生に備えて～道路路開に関する訓練～

道路路開とは、災害等により道路が土砂などで塞がれた時、緊急車両等の通行を確保するため、応急復旧・緊急復旧より前に1車線でも道路を開くように、早急に最低限の土砂などの処理を行うことです。

現地で活動する関係機関(道路管理者、警察、消防、自衛隊、建設協会等)と連携強化を目的とし、他機関主催の訓練にも参加しています。



データ出典：【人口】総務省自治体行政「令和7年住民基本台帳人口」(令和7年7月1日現在) 【面積】国土交通省 国土地理院「令和7年度全国都府県市区町村別面積図」(令和7年7月1日) 【市町界】市町界データ 令和7年度版

生命と財産を水害から守り
豊かな自然を生かすために
～河川事業～

完成から60周年を迎える狩野川放水路

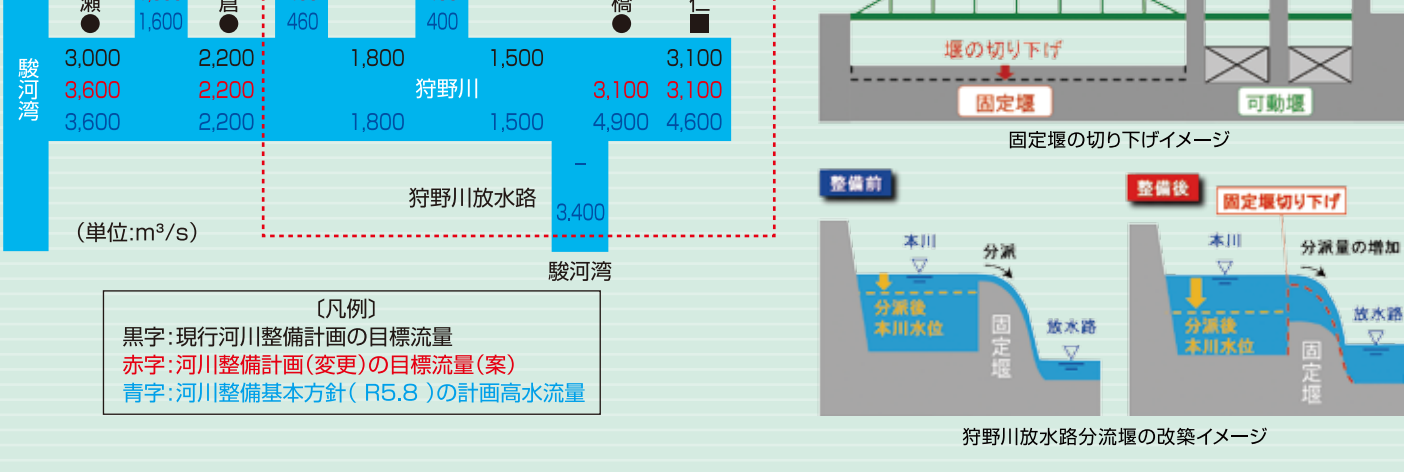
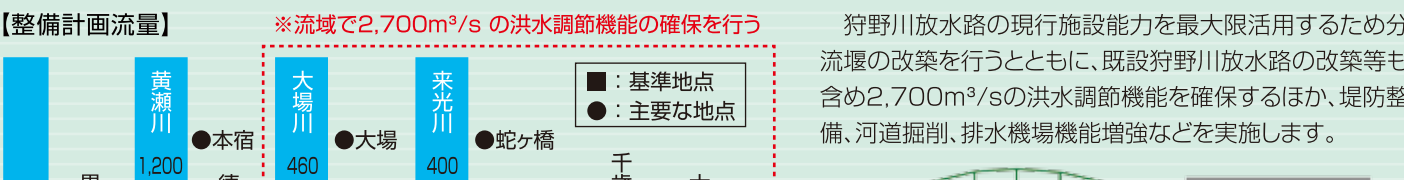
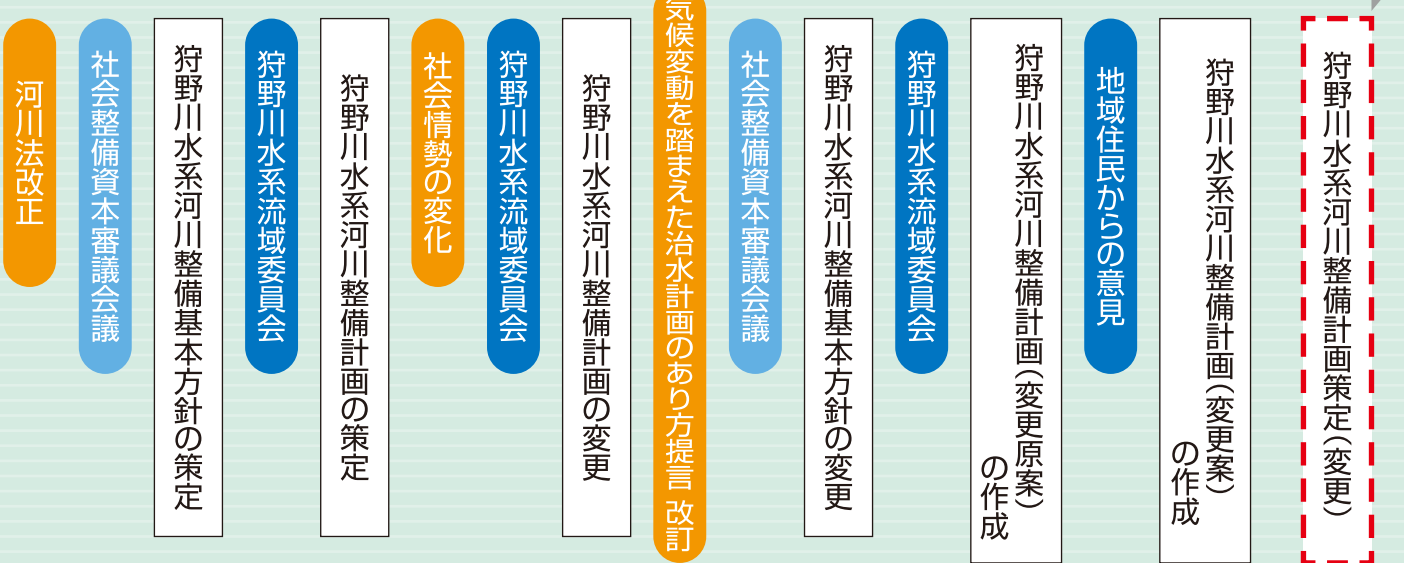
【直轄管理区間】

狩野川：24.9km 黄瀬川：2.7km 柿田川：1.2km 大場川：2.6km 米光川：1.5km 柿沢川：0.9km 放水路：3.0km

狩野川水系河川整備計画の変更

狩野川の整備は、将来的な目標である「狩野川水系河川整備基本方針」(中期的な目標である「狩野川水系河川整備計画」)に基づいて実施しています。「狩野川水系河川整備基本方針」は平成12年に策定、「狩野川水系河川整備計画」は平成17年に策定(※平成28年に一部変更)し、これまで河川事業を推進してきました。近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、大雨等の災害が頻発化・激甚化していることを踏まえ、「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言が改訂され、令和5年8月に「狩野川水系河川整備基本方針」を、気候変動の影響を考慮した治水計画に見直ししました。

見直しした「河川整備基本方針」の目標に向けた段階的な整備にあたり、令和8年度に「狩野川水系河川整備計画」を変更し、気候変動を考慮して、狩野川の治水安全度を高める事業を推進していきます。



自然再生事業 (柿田川)
我が国最大の湧水量によって形成される河川で、貴重な生物の生息・生育場所となっている柿田川において、貴重な水生生物の生育環境やアユの産卵場として機能する健全な水域の保全、再生のため、外来種の駆除や土砂の撤去を行っています。

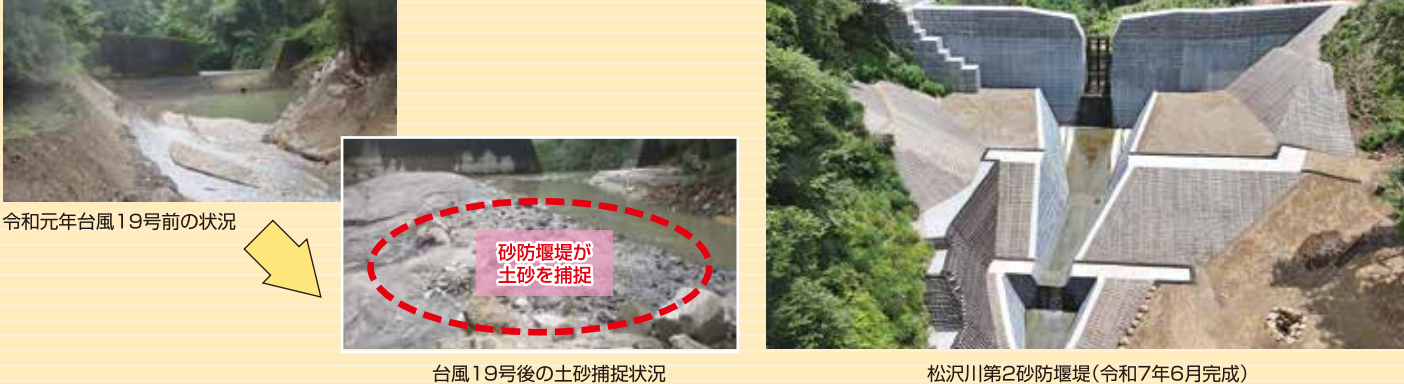
水辺整備事業 (かわまちづくり)
狩野川では、令和8年1月19日にかわまちづくり大賞として表彰された伊豆の国かわまちづくりのほか、「南海岸地域地区かわまちづくり」/沼津市野村かわまちづくりの3地点で実施しています。河川空間を活用するを機会と連携し、賑わいの創出を推進していきます。



狩野川砂防概要

生命と財産を土砂災害から守るために
～砂防事業～

砂防事業は、土石流などの土砂災害から住民の生命、財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出に伴う洪水被害を防止・軽減することを目的として、狩野川上流部に土砂の発生・流出を抑制するための砂防堤等を整備しています。狩野川直轄砂防事業は、昭和33年9月の狩野川台風による災害を契機に、昭和34年から実施しており、狩野川河口から約27.8kmの砂防堤を起点とし上流域約270kmの狩野川流域(修善寺川流域を除く)において、砂防堤建設、浸流保全工事の整備等を行っています。また、伊豆東部火山群のうち、砂防工事に関する調査を行っています。



台風19号後の土砂崩壊状況 松沢川川砂防堤(令和7年6月完成)

沼津河川国道事務所

Numazu Office of River and National Highway



国土交通省 沼津河川国道事務所

国土交通省沼津河川国道事務所 〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2

総務課 ☎(055)934-2001 事務所の総合窓口

経理課 934-2002 入札や契約の手続き

用地第一課 934-2003 河川・砂防事業の用地取得

用地第二課 934-2004 道路事業の用地取得

工務第一課 934-2005 河川・砂防・海岸工事の設計・概算

工務第二課 934-2007 道路工事の設計・概算

品質保証課 934-2008 工事発注系統と審査及び品質管理

流域治水課 934-2009 河川流域治水の調査と事業計画

計画課 934-2010 道路の調査と事業計画

河川管理課 934-2011 河川管理施設の維持管理

道路管理第一課 934-2017 道路の管理・通行規制と道路に関する許可

道路管理第二課 934-2006 道路施設の維持管理・交通安全対策

施設管理課 934-2873 電気通信・機械関連設備の整備

E-mail(代表) cbr-numazu@mlit.go.jp
ホームページ https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/

沼津河川出張所
〒410-0817 沼津市本郷町33-1 ☎(055)931-4370

沼津国道維持出張所
〒411-0943 駿東郡長久保町下土1027-1 ☎(055)986-1122

伊豆長岡出張所
〒410-2204 伊豆の国市堀之上467-2
☎(055)948-0302

湯ヶ島出張所
〒410-3208 伊豆市湯ヶ島131-1
☎(0558)85-0374

伊豆縦貫自動車出張所
〒410-2416 伊豆市修善寺307
☎(0558)74-0551

御殿場国道維持出張所
〒412-0026 御殿場市東田中1845-1
☎(0550)82-2488

下田建設監督官事務所
〒415-0035 下田市東本郷1-6-13
☎(0558)38-0445

沼津河川国道事務所
Numazu Office of River and National Highway

事務所iPad 事務所X 事務所Instagram 事務所YouTube

国土交通省 中部地方整備局

国土交通省 沼津河川国道事務所管内図

